福島県双葉町

広報ふたば

2022年
1月
災害版No.128

【表紙写真】
おめでとうございます・・・
（コーラスふたば50周年記念）

ずっと、ふるさと。
双葉町。

令和４年１月１日発行　（編集・発行）福島県双葉町いわき事務所　秘書広報課

魅力ある復興まちづくりを始動

ー特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除と住民帰還開始ー

令和４年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による全町避難から、３月11日で丸11年になります。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、社会経済に大きな影響を及ぼしました。感染拡大を防止するため新しい生活様式を実行し、東京オリンピック・パラリンピックは無観客での開催、多くの人が集まる行事も中止や延期、規模縮小となり、町民の皆さまの自治会活動や行政区の交流会等の行事もほとんどが中止となり、町民の皆さまの交流・再会の機会の確保が難しい状況にありました。現在は、ワクチン接種が進み、感染者も減少し、日常を取り戻しつつありますが、新たな変異ウイルス、オミクロン株の感染が日本を含め世界の数多くの国と地域で確認されており、まだまだ予断を許さない状況です。引き続き、マスクの着用や３密の回避など感染防止対策が求められております。

また、政府が３回目のワクチン接種の前倒しを表明しておりますので、町から町民の皆さまに必要な情報を随時発信してまいります。

そのような中でも双葉町では、町政懇談会で説明させていただいたように、６月以降の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除と住民帰還開始を目指して、全町民を対象として１月20日から希望する世帯の方々の帰還に向けた準備宿泊を開始します。

また、昨年11月にはＪＲ双葉駅東側で役場仮設庁舎建設の起工式を行い、令和４年６月末の完成、８月末の業務開始を目指して工事を進めております。

「住む拠点」として整備している駅西側地区については、帰還者や就業者向け戸建て住宅30戸、集合住宅56戸を県が代行して整備し、町民の皆さまの帰還環境整備を進めており、10月頃に25戸の入居開始ができるよう取り組んでおります。

そして、地元雇用の創出につなげるため、中野地区復興産業拠点内に立地する企業については現在20件、24社との立地協定を締結しております。

特定復興再生拠点区域の農地についてでありますが、６地区の農地保全管理組合で除染後農地（約１９０ヘクタール）の保全管理作業と野菜及び水稲（下羽鳥地区）の試験栽培が行われており、結果については公表するとともに、今後、ほ場整備作業などにより営農再開に向けた環境条件の整備について取り組んでまいります。また、拠点外の農地についても除染を行うよう国に要請してまいります。

さらに町民の皆さまの生活を支える各種支援策の継続・拡充や原子力損害賠償についても今後も粘り強く国等に要請していく所存です。

本年も新型コロナウイルス感染症対策、ふるさと双葉町を未来に繋いでいくための町内全域の避難指示解除を目標に、議会と連携しながら職員とともに町の復旧・復興、及び町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組み６月以降の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除と住民帰還開始により、多くの町民の皆さまが戻り、新しく町民となる方が転入し、それぞれの暮らしができるよう魅力あふれる復興まちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまには健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

双葉町長　伊澤　史朗

副町長　徳永　修宏

教育長　舘下　明夫

新たな前進

双葉町議会議長　伊藤哲雄

明けましておめでとうございます。

令和４年の新春を迎え、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による全町避難から、11年目を迎えます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症による影響で、都市部では緊急事態宣言が発令され、福島県においては、まん延防止等重点措置が適用され、故郷を離れ避難生活と自粛生活を余儀なくされていることは、本当に辛い年でありました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、町議会議員選挙が執行され、昨年２月３日から新体制のもと、新生双葉町のために新議会として動き出しました。

その中で、３月25日に東京オリンピックの双葉町における聖火リレーが実施され５月１日に震災後初となる宿泊施設、ＡＲＭ（アルム）双葉が開業、同じく５月１日には双葉町産業交流センターにて、延期となっていた令和３年双葉町成人式が震災後初めて町内で開催、８月18日には、大熊町と合同での国への要望活動を実施、10月15日にも、大熊町と合同での東京電力と国への要求及び要望活動を実施しました。

コロナ禍ではありましたが、双葉町のさらなる復旧・復興へと一歩一歩着実に進んできております。

そして、10月１日には、緊急事態宣言が全国的に解除となり、合わせて福島県も全面的に解除となり、新しい生活様式のもと、経済・人の動きが活発になり通常に戻りつつあります。

今年は特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目標としており、町民の皆さまの帰町を迎える為に、拠点区域内のライフラインの整備、ＪＲ双葉駅東側に双葉町仮設庁舎の整備、ＪＲ双葉駅西側地区に災害公営住宅等の居住環境や医療施設の整備が実施され、いよいよ、町民の皆さまの本格的な帰還が始まります。

さらには、特定復興再生拠点区域外の地域においても、できるだけ早く除染が開始されるよう、議会といたしましても、町と議論を行いながら、町全域の避難指示解除に向けて、議会として、しっかり取り組んでまいります。

また、今だに避難生活が続く町の状況を踏まえ、医療費の一部負担金等の免除措置や高速道路の無料措置等の支援制度についても継続していただくよう、国・関係機関に対しまして、積極的に要望してまいりたいと考えております。

今年は双葉町にとって大きな幕開けであり、新生双葉町の始まりです。

議会といたしましても、町民の皆さまの付託に応えられるよう議員一丸となって頑張ってまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年は新たな前進をする年になるように、希望の持てる町の復興に向かって推進していくことと、町民支援に全力を傾注し、議会としての責務を全うすることをお誓い申し上げますとともに、町民の皆さまお一人おひとりのご健勝とご多幸を衷心よりご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

双葉町議会

議長　伊藤哲雄
副議長　高萩文孝
議員　岩本久人
〃　菅野博紀
〃　石田翼
〃　作本信一
〃　小川貴永
〃　山根辰洋

今年は寅年

今年の干支（えと）は「寅（とら）」。寅年生まれの方々に、今年の抱負やふるさとへの思いなどを寄せていただきました。

村井　佳人さん（羽鳥）

早いもので6度目の寅年を迎えることになります。家族4人で東京で避難生活を送るなど想像もしてなかった。幸い震災後1カ月で仕事に就くことができて日々を過ごしつつ、休日には30代半ばから双葉町の仲間とプレーしたソフトボールをこちらで2チームに所属させてもらい楽しんでいます。

コロナ禍もあり20年春から人的接触を避けて、また体力維持にもなるかとロードバイクで江戸川と荒川の堤防を走行して汗を流しています。

地元下羽鳥・長塚地区が特定復興再生拠点区域に指定されたのを機に東京での仕事を辞して、20年の初夏から少しでも復興に役立てばと思い、農地の保全管理に時間の許す限り泊まりがけで通っています。双葉駅周辺からの新たな展開には大いに期待を寄せています。

紺野　朱里さん（鴻草）

東日本大震災から11年目の年になります。10年という小さいような大きいような節目を経て、また新たに時が経とうとしています。

私は、あの震災で失ったものより得たものの方が多いような気がしています。様々な人との出会い、経験を通して自分は強くなれたように思います。今でも双葉の友達と会う機会がありますが、いつも気づいたら双葉での思い出話ばかりしています。そんな時間がとても幸せで、時が経つにつれ私の中で双葉が大きな存在になっていることに気がつきました。

私は現在、双葉町観光協会で働いています。今年は、特定復興再生拠点区域で避難指示が解除されるということで、より一層町を盛り上げていけたらと思っています。寅年の年女ということで、強い信念を持って、何事も前向きにチャレンジしていきたいと思います。

山本　正人さん（鴻草）

今年、満60歳を迎えます。現在、いわき市好間町に妻と2人で住んでいます。

震災当時、津島中に勤務し避難所対応、その後福島市内の信陵中、平一中、平三中で教員をしていました。娘を平成10年双葉北小学校に入学した10月に病気で亡くしてから、野球を通して成長していく息子、娘を亡くした辛さを表に出さないで家事や仕事をしている妻、学校に行くと元気な生徒たちや職員、保護者の方々、友人らに支えられながら、教員として30年間踏ん張ることができたと振り返っています。

現在は退職し、家庭菜園、釣り、サーフィンとスローライフを送っています。また、復興を目指している町の現在を知りたく議会を傍聴したり、少しでも町に関わりたく文化財調査委員会に所属して活動しています。一昨年コロナ禍の中、延期していた息子たちの結婚式も家族だけでしたが無事行うことができ、昨年1月には初孫も誕生しました。

母、娘、父を亡くしてから、自分の、我が家の新年の抱負は「健康第一」です。孫の成長を楽しみに笑顔を心がけ、周りの人への感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思います。

佐藤　大志さん（新山）

私は、現在、教頭として双葉南小に勤務しています。南小勤務は２回目になりますが、平成23年から３年間は、埼玉県の騎西小でお世話になり、南小・北小の子どもたちと一緒に過ごしてきました。避難当時は「いつになったら福島に帰れるのか」等と不安でいっぱいでしたが、そんな気持ちを支えてくれたのが騎西小の先生や地域の皆さまの存在でした。また、福島県から派遣された同僚の励ましも、自信と勇気を与えてくれました。現在、町立学校に通う子どもたちは、幼小中合わせて40人を超え、活気にあふれています。毎日、子どもたちから元気をもらっています。これからも教員として双葉の子どもたちのために頑張っていきたいと思います。

二地域居住を求めて

森　秀樹さん（郡山）

私は、終戦後の昭和25年に生を受けてから東日本大震災まで、太平洋に面した大字郡山の地で、就職・結婚・子育て・子どもたちの結婚・孫の誕生と触れ合いなど、地域の温かい眼差しを受けながら、楽しい60年の日々を過ごしてきたと思っています。

震災以降、初めての集団避難生活・初めての都会生活・初めての二世帯生活、どれもこれも振り返れば楽しきことのみ思い出される貴重な日々でした。

避難を余儀なくされている双葉町も、今春から準備宿泊も可能となり一段と復興が加速され、避難指示解除後の住民帰還が叶う希望に満ち溢れた幕開けになることでしょう。

私も、輝かしく変貌する故郷「双葉町」と居住しているいわき市との二地域居住を模索し、悔いのない人生を送れるよう日々精進していくつもりです。

山本　佑香さん（石熊）

私は現在、富山県で遊具や遊び空間を作る会社で設計業務をしています。富山県は浜通りと違い、冬になるととても雪が降ります。雪かきは大変ですが、冬の立山連峰は特に綺麗で癒されます。知らない土地での一人暮らしは時に心細くなりますが、私にはある夢があり、その夢のためにも日々頑張っています。

それは、〝双葉町に子どもたちの声が戻る遊具を設計すること〟です。子どもたちの明るい声を聞き、また双葉町に住みたい！戻りたい！と思えるきっかけとなれればいいなと思っています。大好きな町の後世へ繋ぐ架け橋となる遊具を双葉の人と一緒に作りたいのです。

そのためにも、たくさんの知識や技術を進んで吸収していき、自分で企画できるほどの経験を培っていきたいと考えています。

２０２２年の抱負

中島　恒徳さん（郡山）

今年、５回目の年男、満60歳を迎え赤色のベストの似合う年齢となります。

東日本大震災から丸10年が過ぎ、震災前までの双葉町の日常とは違った、いわき市での新たな日常を日々送っています。

新年を迎えるにあたっての抱負として、徐々に復興に向け進んでいる双葉町に少しでも関わることができたらと考えています。

除染も進み帰町への道筋も見えてきて、個人的には双葉町に帰りたいと思っていますが、家族の生活や気持ちも考えて答えを見つけようと思っています。

帰町にあたり願うことは、町での生活で不自由のない諸施設の完備ですが、初期の段階では帰町者が不便さを感じないような手当てを町には期待したいと思います。

今、自分にできることは、様々な町のイベントに参加することで、町を盛り上げ復興の小さな一歩に関わっていけたらと思います。

新家俊美さん（浜野）が瑞宝単光章を受章

双葉町消防団員として36年間、住民の生命や生活を守り、東日本大震災発災時には双葉町消防団副団長として人命救助に尽力されたことから、11月3日、新家俊美さんが瑞宝単光章を受章され、12月13日、双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長から伝達されました。

鴻崎太郎さん（鴻草）が藍綬褒章を受章

双葉町選挙管理委員長の鴻崎太郎さんが永年、選挙管理委員・同委員長を務められ、選挙啓発活動に多大な貢献をされたことから、11月3日に藍綬褒章を受章され、12月8日に内堀雅雄県知事から伝達され、12月13日に双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長に受章を報告されました。

渋谷容寿さん（細谷）が全国スポーツ推進連合表彰を受賞されました

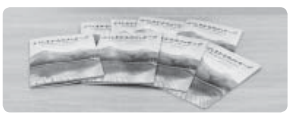
双葉町スポーツ推進委員として32年間、町のスポーツ振興に多大な尽力をされた渋谷容寿さんが11月18日、全国スポーツ推進連合表彰を受賞され、12月6日、双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長から伝達されました。

今泉春雄さん（長塚二）が日本スポーツ少年団表彰を受賞されました

双葉町スポーツ少年団の育成指導員として36年間、町のスポーツ振興に多大な尽力をされた今泉春雄さんが12月3日、日本スポーツ少年団表彰を受賞され、12月6日、双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長から伝達されました。

温かいご支援をありがとうございます

双葉町出身の方から、原子力災害被災地域の今を描いた自費出版の絵本500冊を寄贈いただきました。今後、町立学校などで子どもたちのために役立ててまいります。



江井俊雄さん（新山）が令和３年度全国社会教育委員連合表彰を受賞されました

双葉町社会教育委員として16年間、町の社会教育活動に多大な尽力をされている江井俊雄双葉町社会教育委員の会議長が11月3日、全国社会教育委員連合表彰を受賞され、11月29日に双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長から伝達されました。

平成31年度、令和2年度分
「生活サポート補助金」申請受付会を開催します

平成３１年度、令和２年度分の「生活サポート補助金（中間貯蔵施設整備等影響緩和補助金）」の申請受付会を次の日程で開催します。当該補助金の未申請の方で「申請書の書き方がよく分からない」などお困りの方は、お気軽にご来場ください。

なお、会場の都合上、参加いただける人数に限りがあるため、電話による事前予約が必要となりますので、下記コールセンターへお申し込みください。

新型コロナウイルス感染拡大状況により、感染防止の観点から、やむを得ず中止とさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承願います。

■ 申し込み先

双葉町「生活サポート補助金」コールセンター
フリーダイヤル **0120－280－707**

■ 内容　申請受付（個別対応）

申請書の書き方・個別事情を伺いながら申請の仕方などを説明し、申請受付までサポートします。

■ 日程（時間はいずれも９：30～15：30　お一人さま45分程度）

月　日	地　域	会　場
1月26日(水) 1月27日(木)	加須市	騎西文化・学習センター「キャッスルきさい」（2階 視聴覚室2） 埼玉県加須市根古屋633番地10　☎0480-73-3101
1月31日(月)	東京都	東京芸術センター（９階会議室①） 東京都足立区千住１－４－１　☎0570-010-161
2月　4日(金)	福島市	コラッセふくしま（３階小会議室302） 福島県福島市三河南町１番20号　☎024-525-4089
2月　8日(火)	南相馬市	南相馬市民情報交流センター（１階中会議室） 福島県南相馬市原町区旭町二丁目７番地の１　☎0244-23-7796
2月　9日(水)	白河市	白河市立図書館「りぶらん」（１階中会議室２） 福島県白河市道場小路96－5　☎0248-23-3250
2月22日(火)	さいたま市	コワーキングスペース２４（３階小会議室Ａ） 埼玉県さいたま市大宮区仲町２丁目71　ソシオ大宮　☎048-700-3424
2月24日(木) 2月25日(金)	郡山市	双葉町　郡山支所　（１階会議室） 福島県郡山市朝日１丁目20番地２号　☎024-973-8090

生活サポート補助金（平成３１年度）の申請はお済みですか？

平成３１年度分の申請受付期間は令和４年３月３１日までとなっておりますので、申請忘れのないようご注意ください。令和４年４月１日以降は申請を受け付けることができなくなりますので、お早めに申請していただきますようお願いします。

生活サポート補助金が未申請となっている方へ『生活サポート補助金コールセンター☎０１２０－２８０－７０７』から電話で申請のご案内をさせていただく場合や通知を送らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【問い合わせ先】　住民生活課　☎０２４６－８４－５４１９

行政報告

第４回双葉町議会定例会

12月7日招集の令和３年第４回双葉町議会定例会で、伊澤史朗町長が行政報告を行いました。その概要をお知らせします。

9月定例会以降の行政報告

―中野地区復興産業拠点―

9月22日、中野地区復興産業拠点への企業立地協定を株式会社丸井と、また、10月8日に双葉グリーン土木株式会社とそれぞれ締結しました。これによりまして20件24社との立地協定を締結しております。

―特別通過交通制度適用―

10月1日9時から、町道新山・鴻草線及び町道鴻草・寺松線の一部区間の帰還困難区域内の特別通過交通制度の運用を開始しました。

今回の特別通過交通制度の適用については、地元行政区との調整や、住民へのバリケード種類とバリケード設置の意向調査を行い、原子力災害現地対策本部その他関係機関との調整が整ったことから、双葉地方広域市町村圏組合が管理する斎場「聖香苑」の事業再開に合わせて、双葉町側からの立入も可能となり、今後の町内の特定復興再生拠点区域内での準備宿泊、避難指示解除後の医療機関や買い物へのアクセス道路となることが期待されます。

また、両路線は、8時から18時までの時間制限付きではありますが、通行証の所持・確認を要することなく、自由に通過交通できるようになり、本町の復旧・復興事業に資するものと考えております。

―まちづくりに関する連携協定―

10月8日、株式会社NTTドコモとICTを活用した持続可能なまちづくりに関する連携協定を締結しました。

―市町村対抗ソフトボール大会―

10月16日、「第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会」が相馬光陽ソフトボール場で開催され、双葉町は初戦で北塩原村と対戦し、見事に大会初勝利を挙げました。また、翌週の24日には川俣町と対戦し、惜しくも敗退はしましたが最後まで粘り強くプレーされていました。

コロナ禍の中、全員での練習ができない状況であっても、避難先から選手たちに集まっていただき、双葉町のために精一杯プレーされている姿を拝見し、町の復興に向けて力をいただきました。

―梅檀祭―

10月23日、町立幼稚園、小・中学校による合同文化祭「梅檀祭（せんだんさい）」が、仮設校舎体育館で開催されました。昨年と同様に会場が密にならないよう、観覧される保護者を入れ替えるなど、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、園児・小学生による劇や演奏、中学生は開校8年目となる町立学校仮設校舎を記録に残すための研究について発表を行いました。また、小学4年生から中学3年生は、標葉せんだん太鼓保存会の皆さんからご指導をいただいた、せんだん太鼓を披露するなど、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

―町政懇談会―

10月26日から11月27日まで福島県内外11会場において町政懇談会を開催いたしました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を中止しましたが、今回は合計12回開催し、281人の町民の方々にご出席いただきました。

今回の町政懇談会では、まず私からあいさつの中で町の復興に関する取組状況について報告した後、住民生活課長から「ふるさとへの帰還

に向けた準備のための宿泊（いわゆる準備宿泊）について」の説明を行い、町民の皆さんからご質問やご要望、ご意見等をいただきました。町政懇談会で出されたご意見等は、今後、町議会等に内容を報告するとともに、町政運営に生かしてまいりたいと考えております。

ー信用金庫ネットワークを活用した包括的連携協定ー

10月28日、城南信用金庫、あぶくま信用金庫をはじめとする全国の信用金庫が組織する、よい仕事おこしフェア実行委員会と信用金庫ネットワークを活用した包括的連携に関する協定を締結しました。

ー表彰式ー

11月3日、いわき事務所において、令和3年度表彰式を挙行いたしました。

今年度の表彰式は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、来賓者の規模を縮小して実施いたしました。

式では、特別功労表彰として2名の方、功労表彰として3名の方を表彰し、功労章並びに表彰状と記念品をお贈りしました。

また、永年勤続表彰として7名の方、感謝状として1自治体を表彰し、表彰状と記念品をお贈りしました。

表彰を受けられた皆さんには、これまで地方自治の発展や住民福祉の向上、並びに双葉町民への支援に貢献されましたことに対して心から感謝の意を申し上げるとともに、双葉町の復旧・復興に向けた諸課題への対応に、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げた次第です。

ー仮設庁舎起工式ー

11月15日、双葉町仮設庁舎起工式を現地で行い、工事の安全を祈願いたしました。仮設庁舎については、来年の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除の目標に合わせて、令和4年6月末頃までに整備を完了し、同年8月末頃の業務開始を目指して進めてまいります。

ー復興町民委員会ー

11月16日、復興まちづくり計画（第三次）の策定に当たり町内の各種団体推薦の委員16名による復興町民委員会の第1回目を開催しました。

今後、各委員の意見を伺いながら計画策定を進めてまいります。

ー健康不安に関する相談体制を整備するため包括連携協定ー

12月1日、国立大学法人 長崎大学と放射線に対する健康不安に関する相談体制を整備するため包括連携協定を締結しました。

環境大臣といわき事務所で意見交換を行いました

11月29日、山口壯環境大臣が就任後初めていわき事務所を訪問され、伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長と意見交換を行いました。

伊澤町長からは、輸送をはじめ安全安心を第一とした中間貯蔵事業の実施、特定復興再生拠点区域における着実な除染解体の実施のほか、帰還困難区域全域の避難指示解除に向けた見通しや除染解体等の取組方針も早急かつ具体的に示していただくよう強く要望しました。

東京電力から回答書を受け取りました

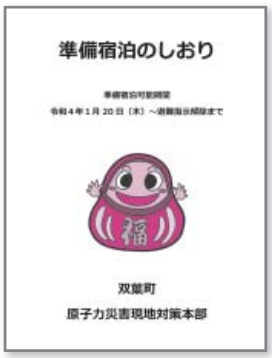
令和３年10月15日に東京電力ホールディングス（株）へ手交した要求書に対して、12月14日に回答書を受け取りました。

回答書はこちらから▶

（タブレット・スマートフォン用ＱＲコード）

準備宿泊について

令和４年１月20日から、ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊（準備宿泊）を開始します。詳しくは今月号の広報ふたばに同封した「準備宿泊のしおり」をご覧ください。



第１回　双葉町復興町民委員会

11月16日、いわき事務所において双葉町復興町民委員会を開催しました。

復興町民委員会は町商工会や観光協会、農業委員会、社会福祉協議会、婦人会やスポーツ推進委員会などに属する有識者によって構成され、町民の生活再建やきずなの維持・発展、復興・再興に関する取組などの検討を行うものです。

はじめに伊澤史朗町長から委員を代表して作本信一さんに委嘱状を交付し、委員の互選で岩本久人委員長と髙野泉副委員長が選出されました。第１回の会では、双葉町復興まちづくり計画（第三次）策定スケジュールなどについて説明が行われました。

風とロックCARAVAN 福島 in 双葉町

2013年12月から、福島県内各市町村の現状をもっと知り、もっと伝える目的で公民館、学校体育館などで開催されてきた音楽イベント、風とロックCARAVAN福島。

12月４日に、県内59市町村のうち最後の開催地となる、双葉町産業交流センターで開催されました。

オープニングトークでは伊澤史朗町長と山本敦子さん（三字）と伝承館の職員である加井佑佳さん（大熊町出身）が震災直後の状況や復興の進捗などをトークセッション形式で話しました。

株式会社アルメディオ　福島双葉工場（仮称）新築工事　地鎮祭

１２月１０日、中野地区復興産業拠点への立地協定を締結している株式会社アルメディオの工場の新築工事の地鎮祭が行われ、伊澤史朗町長、伊藤哲雄町議会議長が出席しました。

拠点内に新築される工場ではカーボンナノファイバーという航空産業や自動車産業で使用する繊維状の材料が製造される予定で、（株）アルメディオの高橋靖社長は「新しい事業であるナノマテリアル事業を始めたが、復興に似たところがあり双葉町と一緒に発展させていただきたい」と話され、伊澤町長は「新規産業がますます注目されれば、さらに発展する期待ができる企業だと思う。これからが楽しみです」とお祝いの言葉を述べました。

この日地鎮祭が行われた工場は延べ床面積約２５００平方メートルで、令和４年８月中旬に完成予定です。

みらいへのヒカリプロジェクト
イルミネーション2021点灯式

１２月１０日、ＪＲ双葉駅旧駅舎前において、双葉町のまちづくり会社である一般社団法人ふたばプロジェクト主催のイルミネーション点灯式が行われました。

これまで町立学校や避難先自治会の皆さんなどに制作していただいたイルミネーション飾りを、友好町である京丹波町の方や関西大学の学生と双葉町婦人会の皆さんが交流をしながら飾り付け、１６時５０分に点灯しました。

点灯期間は令和４年１月３１日までで、双葉町への思いが込められたペーパーランタンや光の階段、光のトンネル、動く光の彫刻（ヒンメリ）などを期間中午後４時から午後１０時まで、ご覧いただけます。

▲京丹波町・関西大学、双葉町婦人会の皆さんによるダルマ折り紙（ダルマ1000プロジェクト）の交流

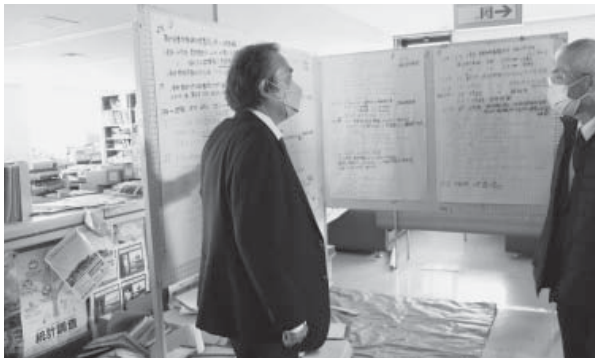
町の復興の推進力となることを期待

～ 長崎大学との包括連携協定に関する協定締結式 ～

１２月１日、東日本大震災・原子力災害伝承館において、双葉町と長崎大学との包括連携協定締結式が行われました。

この協定により今後、放射能に関する知識や情報の共有、健康影響への不安解消へつなげる施策などに連携して取り組みます。令和４年１月２０日から始まる準備宿泊に合わせて双葉町役場コミュニティーセンター連絡所内に「長崎大・双葉町復興推進拠点」を設置し、町民の方から健康相談の要望があれば保健師や薬剤師などを個別に派遣していただく予定です。

協定締結に際し伊澤史朗町長は「町の復興の推進力になると期待している」と述べ、協定締結式後、双葉町役場庁舎、ＪＲ双葉駅西側地区などを視察した長崎大学の河野茂学長は「新しいまちづくりに協定を役立てて、住民の方の安心につなげてほしい」と述べられました。



▲ 双葉町役場庁舎を視察する河野茂学長（右）

双葉町行政区長会

12月13日、双葉町いわき事務所において行政区長会が開催され、伊澤史朗町長のあいさつのあと、町から、町政懇談会の概要、ふるさとへの帰還に向けた準備のための宿泊（準備宿泊）について説明し、その後国から帰還困難区域の復興・再生に向けた政府の取組について説明がなされ、各行政区長と活発な意見交換を行いました。

令和３年度　町政懇談会の議事録について

令和３年度の町政懇談会には２８１人の方に出席いただきました。全会場の議事録については令和４年３月までに双葉町公式ホームページへ掲載する予定です。

掲載の時期が決まりましたらあらためて広報ふたばにてお知らせいたします。

【問い合わせ先】　秘書広報課　☎０２４６－８４－５２０２

双葉町の放射線に関する理解への取組について

～ 令和４年６月以降の特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除に向けて ～

双葉町では職員の放射線に関する知識レベルの向上を目的として、研修会を開催していることについて広報ふたば６月号で紹介しました。今回は、研修会で使用した資料の一部を町民の皆さまへ紹介します。

上の図は、今年度１１月に開催した研修会で使用した資料を加工したものです。

２０１９年１１月と２０２１年１０月に双葉町内を車で走行し、測定した結果を比較しました。２０２１年１０月は工事による通行止めがあったため、走行経路に若干の違いはありますが、図中①・②の経路の測定結果は以下のように変化しました。除染の効果や時間の経過により放射線量が下がってきたことが分かります。

①

２０１９年１１月
毎時 **０.４～０.６** マイクロシーベルト

↓

２０２１年１０月
毎時 **０.２** マイクロシーベルト以下

②

２０１９年１１月
毎時 **０.８** マイクロシーベルト超過

↓

２０２１年１０月
毎時 **０.２～０.４** マイクロシーベルト

このような資料を確認しながら講師の説明を聞くことで、町民の皆さまの放射線に関する不安解消に繋がるよう理解を深めています。特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除へ向けて、１月２０日より準備宿泊を実施してまいります。放射線に関する相談や不安などがあればお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先】　健康福祉課　健康づくり係　☎０２４６－８４－５２０５

公営住宅の入居開始は令和４年10月を予定しています

多くのお問い合わせをいただいております JR 双葉駅西側地区で建設中の公営住宅は今年１０月から入居開始の予定です。入居者募集時期等詳細は決まり次第お知らせします。

駅西側地区の公営住宅は戸建て３０戸、タウンハウス５６戸を整備します。各住宅には「多目的に使えるフリースペース」として土間を標準装備。

この土間は自分の趣味のスペースや、近所の人とお茶を楽しむ交流スペースとしても活用できます。

工事の進捗や最新情報は

検索 restart-futaba で更新しています。

パソコン、タブレット、スマートフォンで検索してください。

双葉駅西側地区
まちづくりプロジェクト
https://restart-futaba.com/

【問い合わせ先】 復興推進課　☎０２４６－８４－５２０３

～教育長メッセージ～

2022年　夢と希望のある「学び」へ

明けましておめでとうございます。２０２２年（令和４年）、町民の皆さまは、ご家族の健康と社会の安寧を願い新年をお迎えしていることと推察申し上げます。

今年は双葉町にとって新たなまちづくりの大きな一歩を踏み出す、歴史的にも記念となる１年となります。多くの町民の皆さまが夢と希望をもって主体的に活動され、年代を越えた「つながる学び」となりますよう物心両面に渡りサポートしてまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、まだ、「新型コロナウイルス感染症（変異株）」が世界中で猛威を振るい収束の見通しがつかない中、日本国内ではリバウンド防止対策を一人一人が意識し、励行していくことが感染拡大の防止になると思います。

双葉町の園児・児童・生徒の皆さんもそれぞれの生活拠点において自己実現のために、これからの生活のさらなる充実を願い２０２２年に向けた多くの夢と希望を抱いていることと思います。教育委員会としましても、皆さんが安全・安心、そして楽しく学校生活が送れるよう学校教育の充実はもちろん、皆さまと繋がっていけるよう努めてまいりたいと思います。また、生涯学習においては各自治会や婦人学級、さらには芸術文化・伝統芸能保存団体の皆さまには、先の見えない不安なコロナ禍が続き活動ができなかった悔しい思いを再開へのエネルギーにかえて今年は「ウィズ・コロナ」を念頭に、新しい生活様式という対策を踏まえながら、活動再開に向けた準備・計画を進めて頂きたいと思います。

☆ 双葉町教育委員会の教育委員による町立学校訪問

新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策の観点から、町立学校においては極力、外部からの訪問を禁止としてきました。しかし、昨年１０月以降、日本国内及び福島県内においても感染者数の減少などから行動制限などが緩和されました。そこで、リバンド防止対策として感染症予防対策をしっかりと行いながら学校行事等も実施する方向で見直しました。久し振りとなる教育委員の町立学校訪問を実施し、子どもたちや先生方の様子、施設設備を視察することができました。また、園長、校長先生との意見交換を実施しました。話題となった内容は以下のとおりです。

① 一人一人と丁寧に向き合った学校教育　② ＩＣＴ機器を効果的に活用した学び
③ 防災教育（放射線教育も含む）　④ 道徳、人権教育の充実

☆ 双葉町社会教育委員による町立学校訪問

第３回双葉町社会教育委員の会議が開催されるにあたり委員の方々からの要望により、町立学校の訪問を実施しました。加えて、相双教育事務所主催による「公民館訪問及び社会教育研修会」も同時開催されました。①生涯学習のまちづくり　②学びが連続する社会活動　③潤いある文化活動の推進、充実　④スポ・レクを通して町民の健康づくりと絆の維持のそれぞれの目標に合わせた具体的な事業について協議しました。分断されたコミュニティをいかにしてつなぎ、継続していくか大きな課題でありますが、近隣町村の事例を参考に話し合いました。キーワードとして次のようなものが話題となりました。

①防災機能の確保（耐震性）　②安全・安心の担保　③放射能汚染のリスク回避　④複合型学校＋社会教育施設（スポーツ施設）　⑤伝統文化、震災アーカイブ　⑥リアリティを体験する場　⑦利便性　⑧にぎわい創出　⑨人を惹きつける工夫　⑩震災の風評・風化

双葉町教育委員会教育長　舘下　明夫

ご成人おめでとうございます

成人を迎えて

成人式実行委員長　岩本　幸矢（長塚一）

９.１１アメリカ同時多発テロが起こり、世界中が混乱と不安の渦に巻き込まれた年に私達は誕生しました。そして、３.１１東日本大震災による原子力発電所の事故で避難を余儀なくされ、友人との辛い別れ、普通の暮らしを突然失う悔しい思いを体験しました。

あれから１１年が経過し、生まれ育った大好きな双葉町の思い出を胸に、避難先で多くの方々のご支援を賜りながら、無事成人の日を迎えることができました。

今後は、この震災の体験を後世に語り継ぐ使命感をもち、幾多のピンチをチャンスに変え、新型コロナウイルス感染症や少子高齢化など多くの社会問題がある中で、大人としての自覚と責任を持ち、人の役に立てる人間になれるよう精進したいと思います。

２０年間支えとなった家族や諸先生方、地域の皆さまに心より感謝申し上げ、未熟な私達により一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和４年 成人者名簿

（五十音順）

双葉町成人式

日　時：令和４年１月３日（月）
　　受　付　　１１時３０分～
　　記念撮影　１２時５０分～
　　式　典　　１３時１５分～
場　所：いわきワシントンホテル椿山荘

男　子　28人

氏　名	行政区	氏　名	行政区	氏　名	行政区	氏　名	行政区
青木大知	長塚一	笠原　頼	新山	杉田　翔	寺松	広田智大	長塚一
石井聖矢	新山	勝山絢介	下条	髙木啓一郎	下条	福田正哉	寺松
岩本幸矢	長塚一	芟花瞭介	山田	舘下智哉	長塚一	船山深愛	羽鳥
大西彦熙	羽鳥	木村弘太	三字	田中賢人	細谷	松木怜大	羽鳥
大和田佳希	長塚二	作本　歩	下条	新川暉仁	中田	万崎慶汰	長塚一
会田拓矢	長塚二	三瓶弘之	長塚二	人見伶哉	郡山	吉田晴輝	三字
笠原　魁	新山	志賀健太	郡山	廣田知希	渋川	渡部莉玖	細谷

女　子　26人

氏　名	行政区	氏　名	行政区	氏　名	行政区	氏　名	行政区
青田このか	下条	遠藤彩菜	長塚一	齊藤　綺	新山	浪江侑加	長塚二
阿部真波	下条	大井川友理	新山	坂下絢香	下条	松井恭子	下条
石川美穂	長塚二	芟花望歩	山田	澤　桃花	長塚一	森　あおい	郡山
石橋涼香	三字	草野里名	細谷	澤上美羽	羽鳥	渡部杏菜	鴻草
井上真智子	下条	見目玲海	山田	澤上優良	山田	渡邉美唯那	下条
今井莉子	長塚一	小林愛佳	長塚二	新野絢子	下条		
宇名根叶多	長塚一	紺野希美	鴻草	高屋敷瑠花	長塚一		

新成人の皆さまおめでとうございます

20歳になったら国民年金

日本に住む２０歳から６０歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気やけがで障がいが残ったときや一家の働き手がなくなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし、加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょう。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※２０歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

国民年金の給付は、３種類の基礎年金があります。

○老齢基礎年金

○障害基礎年金

○遺族基礎年金

※上記年金を受給するためには、それぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第１号被保険者	第２号被保険者	第３号被保険者
対象者	２０歳以上６０歳未満の自営業、農林漁業、学生、無職の方など	会社員、公務員など	第２号被保険者に扶養されている２０歳以上６０歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：16,６１０円 （令和３年度） 付加保険料：４００円	報酬に応じて、事業主と被保険者が折半で負担します。	被保険者本人は保険料負担が不要です。（配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します）

学生納付特例制度について

学生の方は、一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修大学及び各種学校（修業年限１年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

年金手帳は大切に保管しましょう！

公的年金制度では、全ての年金制度に共通する基礎年金番号が使用されます。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料状況等がこの番号で管理され、年金に関する手続きの際必要となりますので、大切に保管してください。

令和４年４月から、「年金手帳」は、「基礎年金番号通知書」に変わります。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には計算されますが、将来もらえる年金額には反映されません。ただし、10年以内であればさかのぼって納める（追納）ことができます。将来受け取る年金額を増額するためにも、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。

【問い合わせ先】　健康福祉課　国保年金係　☎ ０２４６－８４－５２０５

双葉の今を伝えよう ～第８回 ふるさと創造学サミット～

双葉南・北小学校

１２月４日、双葉郡の小・中学校をオンラインで繋いで、総合的な学習などの成果を発表し合う「ふるさと創造学サミット」が開催されました。

双葉南・北小学校上学年の児童たちは、「双葉の今を伝えよう」をテーマに双葉町を元の姿に戻そうと頑張っている人たちにインタビューを実施し、今の双葉町について自分たちで勉強して学んだ成果を発表しました。

ＪＲ双葉駅の開通、東日本大震災・原子力災害伝承館の開館、双葉町への帰還について、クイズを交えて発表したあと、梅檀祭（せんだんさい）で披露したせんだん太鼓の演奏の動画を視聴しました。せんだん太鼓の動画を視聴する他校の児童の皆さんは一緒に音に乗って体を動かすなどしていて、南・北小学校の児童たちはうれしそうにその様子を画面越しに見ていました。

▲発表の練習中

双葉中学校

▲生徒が制作した町立学校仮設校舎のジオラマ

双葉中学校の生徒たちは、梅檀祭でも発表した町立学校仮設校舎の記録を残す取り組みを収めた動画で学習の成果を発表しました。

他校の生徒の発表に対して、メモを取ったり、真剣な様子で画面を見つめたり、拍手を送ったり、時々笑い合ったりしながら学びを深めました。

▲スマートフォン・タブレット用ＱＲコード

梅檀祭り、ふるさと創造学サミットで発表した内容に加え、梅檀祭当日の様子を収めた動画を双葉町公式YouTube チャンネルで公開しています。

ふたば幼稚園×双葉南・北小学校交流会

ふたば幼稚園

１２月４日、双葉南・北小学校の上学年と双葉中学生がふるさと創造学サミットで故郷について学ぶ中、ふたば幼稚園児と南・北小学校下学年はお互いの園舎・校舎を行き来して、縁日遊びや手作りゲームで交流しました。

双葉南・北小学校

けん玉・まと入れ

輪投げ

ぴょんコップ

健診結果から見えること　変えること

皆さん、今年度の健康診断（以下、健診）は受けられましたか？毎年の健診は、身体の健康状態をチェックできる良い機会です。でも、結果を見たとき具体的にどう改善したらいいのだろう？と思った方もおられるのではないでしょうか？特に「体重・BMI※1・血圧・糖・脂質の項目」で前年度より数値が悪くなった方は日々の生活習慣を見直して、改善するのがポイントとなってきます。身近なところから少しずつ、生活習慣病※2対策をしていきましょう！

※1）BMI：身長と体重から算出され、肥満などの可能性と栄養不足による低体重を判断するための指標のこと。

※2）生活習慣病：食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称のこと。

改善ポイント　一例

「過食気味と感じている方は・・・」

ごはんをゆっくり食べてみる。自分の普段の食事や間食で何をどれだけ食べているのか、一日ごとに食べた物の記録をつけてみる。

➡　ごはんをゆっくり味わって食べることで、満腹中枢を刺激して、少ない量でも満腹になり、過食を抑えられます。また記録をつけることで、何気なく無意識的に食べている物を客観的に見やすくなり、間食の食べ過ぎや食事量を見直すきっかけづくりになります。

「運動をしても体重や腹囲、BMIがなかなか改善できていないと感じる方は・・・」

規則正しい習慣で、生活のリズムを整えて代謝しやすい身体づくりを心がける。

➡　朝起きて日光を浴びることで、体内リズムをリセット！！朝食を食べることで身体を目覚めさせます。リズムを整えることで、運動したときの代謝燃焼効率も上がり、さらに痩せやすい身体づくりになります。

ふたば健興プロジェクトを活用して、もっと楽しく、お得に！
健康づくりをしていきましょう！！

健康寿命を伸ばしましょう

各自で目標をもってよい習慣を継続しましょう！

健康寿命とは「心身ともに自立し、健康的に生活できる期間」のことです。

単に寿命を伸ばすだけでなく、健康に生活できる期間を延ばすことが重要なことはいうまでもありません。

新しい年が始まり、多くの皆さんが「目標」を定められたことと思います。１月には「避難者検診」の申込受付があります。また、２月には婦人がん検診の意向調査を実施する予定です。定期的に自分の体の状態を確認し、異常があれば早期発見・早期治療することも健康寿命を伸ばすことになります。ぜひ、目標のひとつに「双葉町総合健（検）診を受ける」を入れてください。また、自分自身の生活に合わせた健康習慣の継続は健康寿命を伸ばすことに大きく影響します。ぜひ、各自で目標を持って良い習慣を継続しましょう！

【問い合わせ先】　健康福祉課　健康づくり係　☎0246－84－5205

浜野行政区
総会・交流会

前回の総会・交流会の時、震災後８年間の思い出や今後のことなどなごやかに歓談し、「元気でいっぺえ、また会うべ」と、次の再会を約束し解散しました。

しかし、昨年度の地区総会はコロナ禍の中で開催ができませんでした。浜野地区が震災後大きく変わろうとする時期で、地区の皆さまのご意見を伺いたいと強く願っておりましたので、とても残念な思いでいっぱいでした。

この２年の間に地区は大きく変わりました。海岸沿いには高い堤防、復興祈念公園、町産業交流センターの開館、ビジネスホテルの開業等々。地区では、中野八幡神社の起工式、竣功祭での浜野はまなす会の神楽奉納、中浜共同墓地の墓じまいを執り行いました。多くの皆さまのご理解とご協力・ご支援のおかげであると心より感謝しております。

今年度は、このような現状の報告と地区の今後のことについてぜひ地区の皆さまの意見を頂戴する必要がある、どうしても開催したいと思っておりました。

11月27日、いわき市湯本温泉「吹の湯」において無事に開催することができ、ほっとしているところです。

総会では予定していた議案（事業報告、会計決算報告、役員改選）の審議後、すべて承認されました。

交流会には、双葉町の伊澤史朗町長をはじめ、徳永修宏副町長も出席くださり、なお一層盛り上がった会になりました。町のこと地区のことなど、今後について話に花が咲きました。

参加してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

来年は、今回ご都合により参加できなかった方々とも、是非お会いしたいです。

浜野行政区長　髙倉　伊助

法務局職員による自筆証書遺言書保管制度に関する説明会について

自筆証書遺言書保管制度をご存じですか？

令和２年７月１０日から始まった自筆証書遺言書を法務局で保管する制度について説明します。

福島地方法務局を拠点としてWeb会議システムを利用し、相馬・郡山・白河・会津若松・いわきにある法務局をつなぎますので、遠方の方でも参加可能です。事前予約が必要ですが、参加は無料ですので、是非ご参加ください。

日時　令和４年１月14日（金）、１月21日（金）、２月18日（金）
※いずれも午前１０時から１時間程度

申し込み方法　福島地方法務局供託課へ電話で申し込み

【申し込み・問い合わせ先】
福島地方法務局供託課　☎024－534－1971

新山行政区の皆さまへ

令和３年度新山行政区総会につきましては、令和４年３月に開催する予定でおりましたが、新型コロナウイルスのオミクロン変異株のまん延が懸念されるため、会場での開催を断念し書面で議決をお願いする方法で行うこととといたしました。

総会資料を送付するにあたり、行政区では全戸の避難先住所を把握しておりませんので、移転をされた方で行政区へ連絡されていない方は、下記連絡先まで避難先住所を２月１０日までに郵送にてお知らせくださいますよう、お願いいたします。

新山行政区長　江井　俊雄
〒970-8047　いわき市中央台高久４－１６－６

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ

除染・解体工事について

建物解体申請の締め切りについて

双葉町の特定復興再生拠点区域の建物解体の申請受付を以下の期間まで受け付けています。申請書類をそろえるのに時間を要する場合があるため、解体を希望する場合は、解体申請の受付窓口にお早めにご相談下さい。

【解体申請受付期間】

特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日から概ね１年後となります。双葉町では令和４年６月以降の避難指示解除を目標としていますが、具体的な申請受付の締切日は、今後特定復興再生拠点区域の避難指示が解除される日が決定されてから改めてお知らせします。

【解体申請受付窓口】　高島テクノロジーセンター（環境省業務受託業者）

＜場　　所＞ 双葉町いわき事務所１階（いわき市東田町２丁目19－４）
＜受付時間＞ 月曜日～金曜日　８：30～17：15（祝日及び12月29日～１月３日を除く）
＜連 絡 先＞ ☎0120－773－275（フリーダイヤル）

片付けごみについて

片付けごみの戸別回収について

双葉町の特定復興再生拠点区域内における家屋について、家屋の片づけによって生じた片づけごみの回収を行っております。

【片付けごみ回収申込先】　双葉町片付けごみサポートセンター

＜受付時間＞ 月曜日～金曜日　８：30～17：00（祝日及び12月29日～１月３日を除く）
（※FAXによる受付は24時間行っております。）
＜連 絡 先＞ 有限会社佐洋運輸（令和３年度環境省業務受託業者）
☎0120－115－261（フリーダイヤル）　FAX：0120－115－271

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～

◇中間貯蔵施設見学会について

➢中間貯蔵工事情報センターでは、工事の進捗を紹介するため、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。１月は、14日（金）、29日（土）を予定しています。
見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター（☎0240-25-8377）までお願いします。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/index.html

◇輸送について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送の状況は下記のとおりです。
・2021年度は、606,424㎥搬入しています。（2015年からの累計は3,584,906㎥）※12月8日（水）現在

◇放射線モニタリングについて

➢空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
➢中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO（中間貯蔵・環境安全事業株式会社）のHPで公表しております。（URL）http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html

【問い合わせ先】福島地方環境事務所　中間貯蔵部　中間貯蔵総括課　☎024－563－1293

消防署からのお知らせ

本年もより一層の火の用心を！
皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

年始から「火の用心！」を心がけましょう！

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。県内でも住宅火災により多数の死者が発生しています。

大切な命、財産を守るため火の取扱いには十分注意してください。一人ひとりの防火意識が地域の安全に繋がります。

暖房器具に気をつけて！

暖房器具による火災に気をつけましょう！
使用する際は下記のポイントに注意が必要です。

1. 暖房器具の近くに燃えやすい物を置かない！
2. 必ず人がいる時のみ使用する！
3. 暖房器具の消し忘れに注意！

１月２６日は文化財防火デーです！

１月２６日に、世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂で火災が発生したことをきっかけに、国民の文化財愛護に関する意識の高揚、防災体制の確立を図るために制定されました。

消防では、文化財関係者および地域住民と協力して、消防訓練を実施しています。この機会に文化財愛護や防火・防災意識について今一度考えてみましょう。

令和３年度全国統一防火標語　【おうち時間　家族で点検　火の始末】

火事と救急は１１９番　＜消防署連絡先＞
・浪江消防署　☎0240－34－4111
・富岡消防署　☎0240－22－2119

双葉町社会福祉協議会
～１月　健康運動教室・サロンのお知らせ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。参加をご希望の方は、事前申し込みが必要となりますので、下記問い合わせ先へご連絡ください。

●健康運動教室

会　場	開催日	時　間	問い合わせ・申込先
南東北総合卸センター２階第６会議室（郡山市喜久田町卸１丁目１-１）	①第１、３木曜日 ②第２、４水曜日 ③第２、４木曜日 のいずれか	13:30 ～ 15:00	郡山事務所 ☎024-973-5291
福島市老人福祉センター２階研修室（福島市仁井田字八ツ割川原３）	１月１８日(火)		
双葉町役場南相馬連絡所１階会議室（南相馬市原町区青葉町２-62-２）	毎週水曜日	①　9:30～11:00 ②13:30～15:00 のどちらか	南相馬出張所 ☎080-5730-1166

●社協サロン

会　場	開催日	時　間	問い合わせ・申込先
郡山市喜久田公民館和室３（郡山市喜久田町堀之内字下河原１）	１月１７日(月)	10:00 ～ 11:30	郡山事務所 ☎024-973-5291
白河市中央老人福祉センター会議室（白河市北中川原３１３）	１月２５日(火)		

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」

福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】働きたいネットの企業説明会＠オンライン

お仕事を探している人集合！　福島県の企業３０社程度が集結！
仕事探しの情報収集やきっかけづくりに参加してみませんか？
ＺＯＯＭ初心者も、スマホやパソコンで、簡単に参加可能！　視聴だけの参加もＯＫ！
企業説明、就職相談、お仕事探し、移住などの各支援ルームもあります。

- **日　　時**…１月２１日（金）　１３：３０～１５：３０　途中参加ＯＫ！
- **参加方式**…オンライン（ＺＯＯＭ使用）
- **内　　容**…企業説明会（３０社程度）・就職相談・お仕事探しの支援・移住支援のルームなど
- **締　　切**…１月１２日（水）

※詳細はホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】　ホームページ　働きたいネット　で検索
福島広域雇用促進支援協議会　福島統括窓口（福島市中町４番２０号 みんゆうビル２０２号）

福島県北・相双地域若者サポートステーションは、「働くこと」に悩みを持っている１５～４９歳までの無業状態の方とその家族をサポートする厚生労働省委託の支援機関です。
一人で悩まずにまずはお気軽にお問い合わせください。あなたの踏み出す一歩に寄り添います。

◆開所日…月曜日、水曜日、金曜日、土曜日（月２回）　１０：００～１８：００
火曜日、木曜日　１０：００～１９：００

電　話：０２４-５６３-６２２２

令和４年度　指名競争入札参加資格審査受付

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加審査資格申請書」を提出する必要があります。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。
今回は令和４年度の１年分の資格審査申請書を受け付けます。

▼受付期間
令和４年２月１日（火）から２月２８日（月）まで
持参の場合：午前８時３０分～午後５時１５分
※土・日曜日、祝日を除く

▼提出書類
・福島県様式に準じる（各１部提出）
詳細は双葉町の公式ホームページをご確認ください。
※申請書はＡ４ファイルとじとします。
※ファイルの色については、（建設工事：グリーン、測量等：イエロー、物品・役務：ピンク）で提出してください。

▼提出場所および提出方法
持参または郵送（締切日必着）のいずれかの方法により双葉町いわき事務所総務課へ提出してください。受付票が必要な方は、受付印を押印する書類と返信用封筒、もしくは返信用はがきをご用意ください。（任意様式可。宛先を記入し、必ず郵送料金分の切手を貼付けること。）

▼当該資格の有効期間
令和４年６月１日から令和５年５月３１日までの１年間有効です。

【問い合わせ先】総務課　管財係　☎0246-84-5201

人のうごき11月分　敬称略

お悔み申し上げます

氏　名	年　齢	死亡日	行政区
内田　　武	91	10月29日	三　字
佐々木キミヨ	73	11月　5日	山　田
江井ヨシエ	92	11月　5日	新　山
伊澤　慶二	95	11月10日	三　字
林　トミ子	80	11月17日	山　田

双葉町民の避難状況（令和３年11月30日現在）

・福島県内に避難されている方　3,980人
・福島県外に避難されている方　2,727人

※平成23年３月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。
なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課　☎0246-84-5202

双葉の風だより

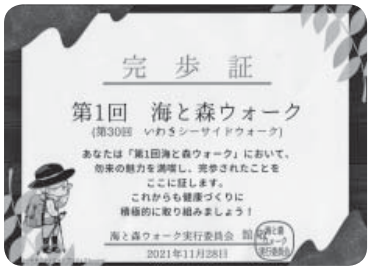
全国に避難されている皆さんから寄せられたお便りの一部をご紹介いたします

勿来「海と森ウォーク」に参加！

当日は絶好の好天に恵まれ、海岸を歩き勿来公園内一周のウォーキング…砂浜は、波も穏やかで海面はキラキラ輝き、三崎公園のマリンタワーを遠望しながら、住宅街に入ると、民家の庭先には皇帝ダリアや山茶花が今盛りと、こぼれるように咲いていました。

勿来の関所内遊歩道は広葉樹林が晩秋の柔らかな日差しに秋色に輝き、歌人が読んだ碑が随所にあり、古に思いを馳せながら眺めて歩きました。

約２時間のウォーク、後半は木漏れ日の下、落ち葉を踏みしめて歩きながら、うっすらと汗ばんだ充実感は、日頃のコロナ禍自粛生活からの開放感もあり、ストレス発散となりました。そして、向寒への活力源となりました。



令和３年１１月２８日（日）
大橋　庸一（細谷）

今年もシクラメンを届けました　いわき・まごころ双葉会

「いわき・まごころ双葉会」では、シクラメンの鉢植えを今年も、役員が手分けして会員宅に届けました。

鉢植えは県立磐城農業高校へ昨年から栽培を委託し、活動の一環として毎年この時期に届けているもので、今年は特に出来栄えが良いシクラメンを役員が全世帯を訪れ「コロナに負けず良いお年を…」のメッセージを添えて手渡し、会員から大変喜ばれ訪問を歓迎されました。

会員は長期避難に加え、新型コロナウイルスの影響で長時間家にいる自粛生活の中、きれいなシクラメンが届きストレス解消になるとの事でした。

小川貴永事務局次長は「鮮やかに咲くシクラメンで心を癒して…」と手渡しました。

【文芸】

俳句
・卒寿なる　昇る初日に　手を合せ
・虎の子で　三つ作った　お年玉
・お正月　雑煮作って　故郷（さと）忍ぶ

川柳
・牛去って　虎は千里の　旅に出る

短歌
・故郷（ふるさと）を　思わぬ人は　なきものを
一時帰宅も　更地となりて

今泉　禮子（長塚二）

県南双樹会・ひまわり婦人学級　見学会

令和３年１０月２９日、双葉町県南双樹会、ひまわり婦人学級合同にてとみおかアーカイブミュージアム及び東日本大震災・原子力災害伝承館の見学会を新型コロナウイルス感染に注意しながら開催いたしました。

白河市を６時３０分出発、とみおかアーカイブミュージアムに８時４５分頃着きました。その後学芸員の吉野さんから説明を受けて９時に会場に入り、富岡町の歴史や東日本大震災原子力災害の展示品を約５０分見学いたしました。

その後、双葉町へ行き、ＪＲ双葉駅にて壁画アートを見学しながら双葉町役場の職員のあいさつをいただいて、伝承館に向かいました。職員から説明を受けて会場を約５０分見学いたしました。また懐かしい双葉町民と再会し感動しました。その後集合写真を撮影しバスに乗り、北上して相馬市松川浦に行き昼食をとりました。その後浜の駅にて買い物をしてアーカイブミュージアムに戻りいわきから参加していただいた３人の方と別れ、白河市に１８時に着きました。

総合的な感想としては、東日本大震災や原子力災害において私たちが分からないこともあったと思います。今回の見学会において、災害の恐ろしさをあらためて知りましたし、まだまだ知らないこともあると思います。これからも災害にあわないように注意したいものです。

また東日本大震災や原子力災害以来の、双葉町民や町民以外の方との再会に感動しました。お別れの時にまたの再会を誓いました。健康な時に再会をしたいと思います。

県南双樹会　会長　舘林　孝男

【文芸】俳句

・寒椿　色あざやかに　散らしおり
・大空に　裸に立てし　冬木立
・日が当たる　部屋の奥まで　冬日影
・古里や　冬草茂り　朝日さす
・冬草や　古里思う　宅地跡

鎌田　益實

記録として次の世代へ
ふるさと
絆通信
第103号

ずっと、ふるさと。双葉町。

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日をどのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。

「ふるさと絆通信」で あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】　秘書広報課
☎ 0246－84－5202

加藤（かとう） 秀雄（ひでお） さん
菊子（きくこ） さん
（山田）

ふるさと絆通信

●避難先●
福島県いわき市

転勤で各地を転々とする中

私は浪江町大堀地区の出身で、学校を出てから大手石油会社に勤務し、妻は山田地区にある農家の三女ですが、すでに姉たちが他家へ嫁いで家を継いだため婿養子となりました。

結婚後、転勤で数年ごとに転居を繰り返していましたが、子どもが小学生になってからは、転校により慣れ親しんだ学校や仲良くなった友達と別れざるを得ないなど、かわいそうな思いをさせてしまいました。そこで、子育ての環境を考え、長男が中学生になる時期にあわせて双葉町に戻り生活することになりました。

故郷へのUターン

進学や就職で都会に出ても、故郷に戻りたいという気持ちはあっても、仕事が無いため実現できないという話をよく耳にします。Uターンした当時、夫婦ともに30歳代の働き盛りで、そうした不安もありました。しかし、妻は、幼い頃より母から農作業の手ほどきを受けてきたため農業に従事し、私は石油会社への勤務経験を生かし㈱伊達屋に勤務しました。

節目の時期と前後した震災

震災前々年に私たちは結婚40周年、前年には孫の高校進学、そして、母は間もなく90歳の卒寿を迎えようとした矢先、震災と原発事故に見舞われました。夫婦ともに還暦を過ぎ、孫にも手がかからなくなり、母とともにゆっくりとした老後を過ごそうと思っていましたが、一転して先の見えない日々の始まりとなってしまいました。

家族が一緒に居られること

双葉町を離れてから、仕事や学校の都合で、子どもや孫と離れたこともありましたが、故郷で生活できないからこそ、せめて家族が一つとなって生活したいという思いが強くなりました。震災後の混乱が続いている中でしたが、縁あって土地を確保することができたため、平成26年、私たちと母、長男と孫たちが各々同じ敷地に自宅を建てることができました。

「震災10年の節目」は家族も増え

自宅がある地区は放射線量が高く帰還困難区域となっているため、墓参の際、立ち寄る程度です。

被災当時、高校1年生だった孫は7年前に結婚し子どもが2人います。私たちにとってはひ孫、母にとっては玄孫の誕生は、当家にとって将来を繋ぐ希望のように感じられました。コロナ禍ながらも幸い家族全員が元気で、昨年、母が百歳を迎え、家族と親戚縁者で賀寿のお祝いをしました。

今月のベストスマイル

いいね！

友好都市の埼玉県加須市で行われたイベントで左から小林謙二さん（三字）、木村和弘さん（三字）、木村和虎さん（三字）、木村祐美子さん（三字）の笑顔です

ー編集後記ー

今月の表紙は50周年を迎えらえたコーラスふたばの皆さんが無観客で行った記念コンサートの一場面です。在籍年数が最長の方、50周年記念の記念誌の編纂（へんさん）にあたられた方、指揮者・ピアノ伴奏者の先生と代表者の方に感謝の意を込めて花束を贈呈した後に、皆さんで記念撮影をしました。令和２年度中に50周年を迎えられていて、今回は新型コロナウイルス感染症対策で１年延期していた記念コンサートの実施となりました。集合した時から会場設営、リハーサル、着替えなどの準備、記念コンサート本番、会場の片づけに至るまで皆さんの息の合った様子が印象的でした。

令和３年はオリンピック聖火リレーや双葉町仮設庁舎の起工などＪＲ双葉駅周辺での町の動きが多かったように思います。ＪＲ双葉駅西側地区の住宅団地の整備状況等もご覧いただけるドローン映像を、双葉町公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネルで定期配信中ですので是非ご覧ください。

▲
コーラスふたば50周年コンサート動画
スマートフォン・タブレット用ＱＲコード

連絡先

○いわき事務所
〒974－8212
福島県いわき市東田町二丁目１９－４
☎ 0246－84－5200
FAX 0246－84－5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所
〒963－8024
福島県郡山市朝日一丁目２０番２号
☎ 024－973－8090
FAX 024－933－5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○埼玉支所
〒347－0105
埼玉県加須市騎西３６番地１　加須市騎西総合支所２階
☎ 0480－53－7780
FAX 0480－53－7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○コミュニティーセンター連絡所（午前９時～午後４時）
〒979－1471
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西３９－２２
☎ 0240－23－0051
FAX 0240－23－0052

○南相馬連絡所（午前８時30分～正午、午後１時～午後５時15分）
〒975－0039
福島県南相馬市原町区青葉町２－６２－２
☎ 0244－32－1275
FAX 0244－32－1277

○つくば連絡所（月・火・水　午前９時～午後５時）
〒305－0044
茨城県つくば市並木３丁目１　５５１棟
☎／FAX 029－854－7511

○双葉町公式ホームページ
https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/

○双葉町産業交流センター公式ホームページ
https://www.f-bicc.jp/

○双葉町公式ＹｏｕＴｕｂｅチャンネル
https://www.youtube.com/user/futabakoho

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
https://futabanowa.wordpress.com/